



# 目次

---

## 改訂情報

---

| 変更年月日      | 変更内容                                   |
|------------|--|
| 2013-02-01 | 初版                                     |
| 2014-08-01 | 第2版 帳票エンジン (IOWebDOC) の差し替えに伴う改訂をしました。 |
| 2014-12-01 | 第3版 帳票エンジン (IOWebDOC) の差し替えに伴う改訂をしました。 |
| 2016-08-01 | 第4版 帳票エンジン (IOWebDOC) の差し替えに伴う改訂をしました。 |

## はじめに

### 本書の目的

本書では、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) のインストール手順、移行手順、開発手順について説明します。

IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) を利用する前に必ずご覧ください。



#### コラム

IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) のインストール手順は、IM-PDFDesigner for Accel Platform (旧互換版) と同じです。

新規で IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) をインストールする場合は、IM-PDFDesigner for Accel Platform (旧互換版) のセットアップ手順を実施したのち、[新規インストールの場合 \(IM-PDFDesigner for Accel Platform\(多言語版\) 利用時の追加設定\)](#) 追加で設定ください。

### 多言語版 と 旧互換版 の違い

- 帳票エンジン (IOWebDOC) の製品バージョン / 帳票エンジン (IOWebDOC) のインストーラそのものが異なります。
- jarファイル、immファイルは同じです。
- 帳票レイアウトファイル (dlf/iod/def等...) の形式が異なります。後述しておりますので、保存する際に多言語版に対応した形式で保存してください。
- データの文字コードが異なります。旧互換版はMS932 (SJIS) でしたが、多言語版はUnicode(UCS-2)です。設定方法は後述しておりますので、手順に従って設定してください。

### 多言語版 と 旧互換版 の判別方法

帳票エンジン (IOWebDOC) がインストールされたマシンにログインし、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

```
C:\> iowebver  
IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x ← 実際はダイアログに表示されます。
```

バージョン番号が、1.x.x.x の場合は、旧互換版、  
バージョン番号が、3.x.x.x の場合は、多言語版、となります。

### 前提条件

本書は、以下に列挙する技術に関する知識を有することを前提として構成されています。これらの技術に関して不明な点がある場合、本書の内容を正しく理解することが困難になりますので、予めご了承ください。

ださい。なお、前提知識となる技術に関しては、一般の専門書籍等をご覧ください。

- Javaプログラミング言語 / JavaScript言語
- Java ServletおよびJSP
- オペレーティングシステム
- intra-mart Accel Platform

IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) で出力されるPDFファイルには、フォントが埋め込まれます。これにより、PDFファイルで複数言語を扱うことが出来ますが、フォントを埋め込む分PDFファイルのサイズが大きくなります（これは他の多言語対応帳票ソフトも同じです）。

このため、以下のようなお客様は、IM-PDFDesigner for Accel Platform（旧互換版）を利用すべきです。

- 新規購入である。日本国内のみでの使用。文字コードとしてMS932の範囲内で問題が無い。
- 既存システムのリプレースで、以前より IM-PDFDesigner for Accel Platform を使用している。



#### 注意

IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) のモジュール等を IM-PDFDesigner for Accel Platform Ver7・x以下の製品にインストールしないでください。どうしても、動作させたいという場合は営業までお問合せください。

## 対象読者

本書は、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) を利用するための手引書となっています。以下の利用者を対象としています。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) を新規インストールする方
- IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) へ移行する方
- IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) で開発する方

## 用語解説

IM-PDFDesigner for Accel Platform

PDFデザイナー と略します。

Resin をインストールしたディレクトリ

%RESIN\_HOME% と略します。

## 制限事項

IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) をご利用いただくにあたり、以下の制限事項がございます。

## 制限事項

- IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) は、Windows版のみの提供となります（Linux版については今後提供予定です）。
- Windows（日本語版）での動作をサポートします。Windows（日本語版）以外の環境での動作はサポート対象外です。
- Unicodeに含まれない文字を扱うことはできません（扱える文字集合は、Unicode(UCS-2)です）。
- サロゲートペア文字には対応していません。
- 既存の帳票レイアウト（IODファイル）を利用する場合は、別途 移行手段を用意していますので、「既存システムの移行手順」の章をご覧ください。
- 一つの識別子内に複数の言語を混在させることはできません。
- プロポーショナルフォントは利用できません。
- 利用可能なフォントの制限があります。
- 開発にあたりデータを外部ファイル（CSV もしくは DAT形式）で渡すクラスを利用ください。メモリ渡しのクラスは利用できません。
- 帳票レイアウト移行後にフォントの位置等がずれる場合には、帳票レイアウト上で位置の調整をお願いいたします。
- 多言語版はフォント関連の処理（フォントの埋め込み処理など...）を行うことから、旧互換版よりも処理に時間がかかります。導入前に、必ず想定されている環境にて事前に処理速度を検証ください。

## サポートする言語およびフォント

| 言語  | 利用可能なフォント                   |         |
|-----|-----------------------------|---------|
| 日本語 | MS ゴシック、MS 明朝、IPAゴシック、IPA明朝 |         |
| 英語  | Courier New                 |         |
| 中国語 | 繁体字                         | MingLiU |
|     | 簡体字                         | SimHei  |
| 韓国語 | GulimChe                    |         |

- 既存システムのリプレースでPDFデザイナーVer7. Xから移行する場合、帳票で使用している

フォントを変更する必要があります。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) では、PDF出力時に日本語/英語/中国語/韓国語のフォントが利用できます。
- 固定幅フォントが利用できます（帳票ツール上でプロポーショナルフォントを指定することは可能ですが利用できませんのでご注意ください）。
- Windows用のTrueTypeフォントが利用できます。
- 埋め込みが許可されていないフォントは使えません。事前にフォントのライセンスをご確認ください。
- 作成したPDFファイルを配布する場合は、埋め込んだフォントに再配布の許諾があることを事前にご確認ください。
- 縦書き用でないフォントで縦書き出力した場合、文字の出力位置がずれる場合があります。
- 指定外のフォントを利用した帳票の出力結果は保証されません。
- 一つの帳票上で一つの言語の文字を配置できます。

## サポートする文字集合

| 言語  | サポートする文字集合                     |
|-----|--------------------------------|
| 日本語 | JIS X 0213:2004                |
| 英語  | ISO8859-1、ISO8859-15<br>CP1252 |
| 中国語 | GB18030:2000                   |
| 韓国語 | KS X 1001:2007                 |

## 入力ファイルのエンコーディング

IOWebDOCでは、入力ファイルにUnicodeやShiftJISが利用できます。エンコーディングがUnicodeの場合は、実装水準1に対応しています。なお、実装水準1に結合文字は含まれません。入力ファイルの文字は、次に示すエンコーディングを使用して変換します。入力ファイルに対するエンコーディングを間違えると、文字化けが起きたり空白が出力されたりする場合があります。

| 入力ファイル           | エンコーディング                    |
|------------------|-----------------------------|
| 帳票ファイル（IODファイル）  | UTF-8、ShiftJIS              |
| マッピング（CDDファイル）   | ロケールに対応する文字コード              |
| データファイル（DAT、CSV） | UTF-16、UTF-8、ロケールに対応する文字コード |
| 環境設定ファイル         | UTF-16、UTF-8、ロケールに対応する文字コード |

- BOM (Byte Order Mark) を付与したUTF-16エンコーディングで変換します。
- UTF-8で表現できる文字 (1バイト~2バイト) の中に不正なコードが使用されている場合、正常に出力されない可能性があります。
- ロケールに対応する文字コードで変換した場合、ロケールごとにデフォルトのエンコーディングが異なります。
- 英数字以外のファイル名は利用できません。

#### 入力ファイルの対応するエンコーディングとBOM (Windows環境)

| BOM    | エンコーディング方式         | 対応   |
|--------|--------------------|--|
| FEFF   | UTF-16 (ビッグエンディアン) | 対応していません。UTF-16 (リトルエンディアン) もしくは、UTF-8を利用ください。 |
| FFFE   | UTF-16 (リトルエンディアン) | 対応しています。                                       |
| EFBBBF | UTF-8              | 対応しています。                                       |
| なし     | MS932 (SJIS)       | 対応しています。                                       |

- UTF-8/UTF-16でデータを渡す場合、BOMが必須です。
- UTF-16 (ビッグエンディアン) のデータは利用できません。UTF-16 (リトルエンディアン) もしくは、UTF-8を利用ください。
- BOMがない場合、MS932 (SJIS) として処理されます。
- ログファイルは、UTF-16 (リトルエンディアン) BOM付で出力されます。



## 動作環境

---

以下、弊社動作検証済みのintra-mart製品と他社ミドルウェア製品サーバ環境です。  
スタンドアローン環境 / 分散環境ともに共通です。

| <b>OS</b>   | <b>JavaVM</b>   | <b>DataBase</b>                 |
|---|-----------------|---------------------------------|
| Windows Server 2008 R2 / 2012 /<br>2012 R2 (日本語版) | JDK7.x / JDK8.x | Oracle DataBase 11g<br>Release2 |
| Windows Server 2008 R2 / 2012 /<br>2012 R2 (日本語版) | JDK7.x / JDK8.x | Oracle DataBase 11g<br>Release2 |

# インストール

## 新規インストールの場合（IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) 利用時の追加設定）

新規で IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) をインストールする場合には、IM-PDFDesigner for Accel Platform（旧互換版）のセットアップ手順を実施したのち、[新規インストールの場合（IM-PDFDesigner for Accel Platform\(多言語版\) 利用時の追加設定）](#) を設定ください。

### 帳票エンジン（IOWebDOC）のライセンス登録

PDFデザイナーのライセンス登録が正常に終了しているお客様では、この作業は必要ありません。念のため以下の画面を開いてください。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「YSS IOWebDOC」→「ライセンス」→「ライセンス」の入力ボタンを押す

|                  |                  |   |       |   |      |   |     |    |          |
|------------------|------------------|---|-------|---|------|---|-----|----|----------|
|                  | 123456789+123456 | - | 12345 | - | 1234 | - | 123 |    | OK       |
| IODOC Tool :     |                  | - |       | - |      | - |     | ?? | キャンセル(C) |
| IODOC Runtime :  |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| IOCELA Tool :    |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| IOCELA Runtime : |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| IDA :            |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| PDFフォント埋込み :     |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| Java-IF :        |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| 体験版(T) :         |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |

何もライセンスが入っていない場合、上記の画面が表示されます。

|                  |                  |   |       |   |      |   |     |    |          |
|------------------|------------------|---|-------|---|------|---|-----|----|----------|
|                  | 123456789+123456 | - | 12345 | - | 1234 | - | 123 |    | OK       |
| IODOC Tool :     |                  | - |       | - |      | - |     | ?? | キャンセル(C) |
| IODOC Runtime :  |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| IOCELA Tool :    |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| IOCELA Runtime : |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| IDA :            |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| PDFフォント埋込み :     |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| Java-IF :        |                  | - |       | - |      | - |     | ?? |          |
| 体験版(T) :         |                  | - |       | - |      | - |     | OK |          |

体験版ライセンス番号は期限ごとに異なります。一番右の欄の横に「OK」と出れば使用可能です。

正規のライセンスは上記の赤い欄に入力します。（欄が赤くなる訳ではありません）。

もし、正規ライセンスを購入しているが、赤い欄のライセンスが入力されていない場合、PDFデザイナー（V7互換バージョン）のマニュアルの●●を参照して入力してください。

また、多言語版を使用するには「PDFフォント埋め込み」の欄（上記黄色の欄）への入力も必要です。こちらに関しては以下のライセンスを黄色の欄に入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版限定使用許可です。

d89717wrAC000507-pc777-0808-019



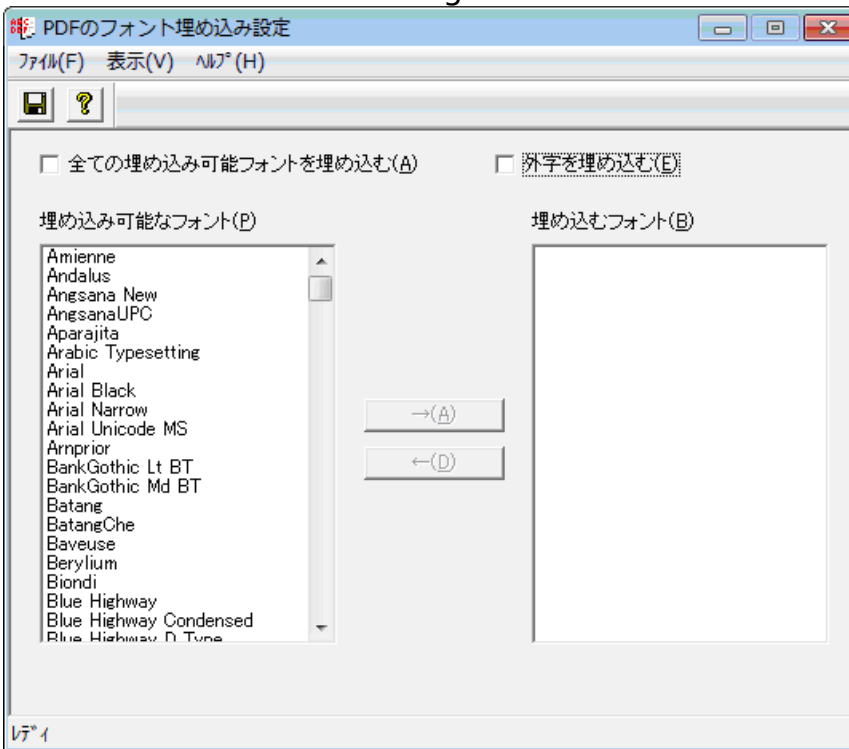
### 注意

V7.xx以下で使用する場合は費用が必要になりますので、ご注意ください。

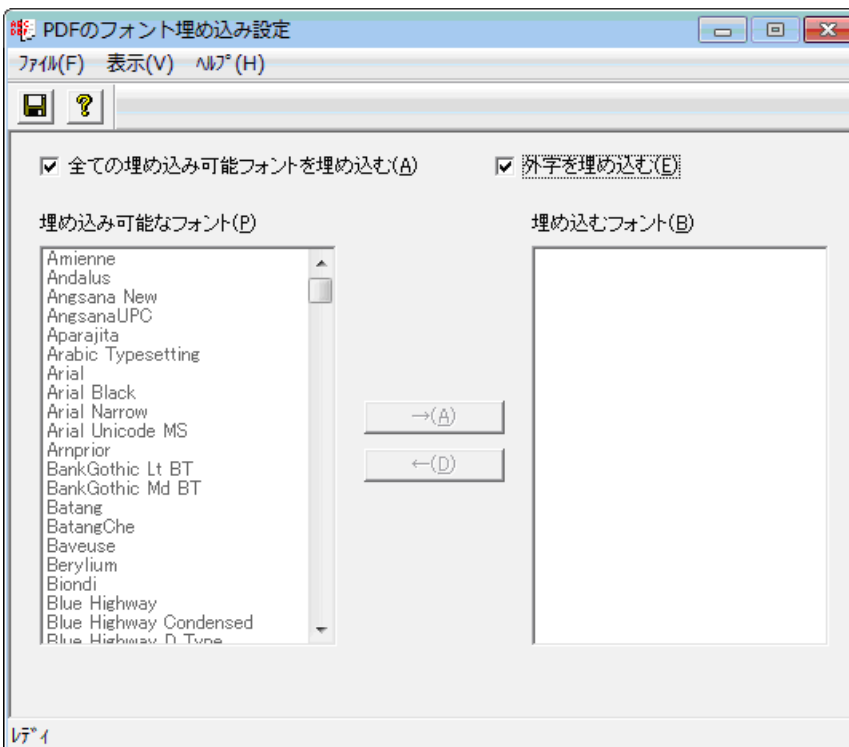
## フォント埋め込みの設定（外字オプション）

多言語をPDFファイルに埋め込むためには、PDFファイルにフォントを埋め込む設定が必要です。以下に設定方法をご説明させていただきます。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「YSS IOWebDOC」→「PDFフォント埋め込み」



上記の画面が起動します。



「全ての埋め込み可能フォントを埋め込む」「外字を埋め込む」にチェックをしてください。  
 その上で、「ファイル→上書き保存」の指定 または 「保存ボタン」 を押してください。これをせずに  
 単純に「×」  
 ボタンで画面を閉じると、設定が保存されません。

## 注意点

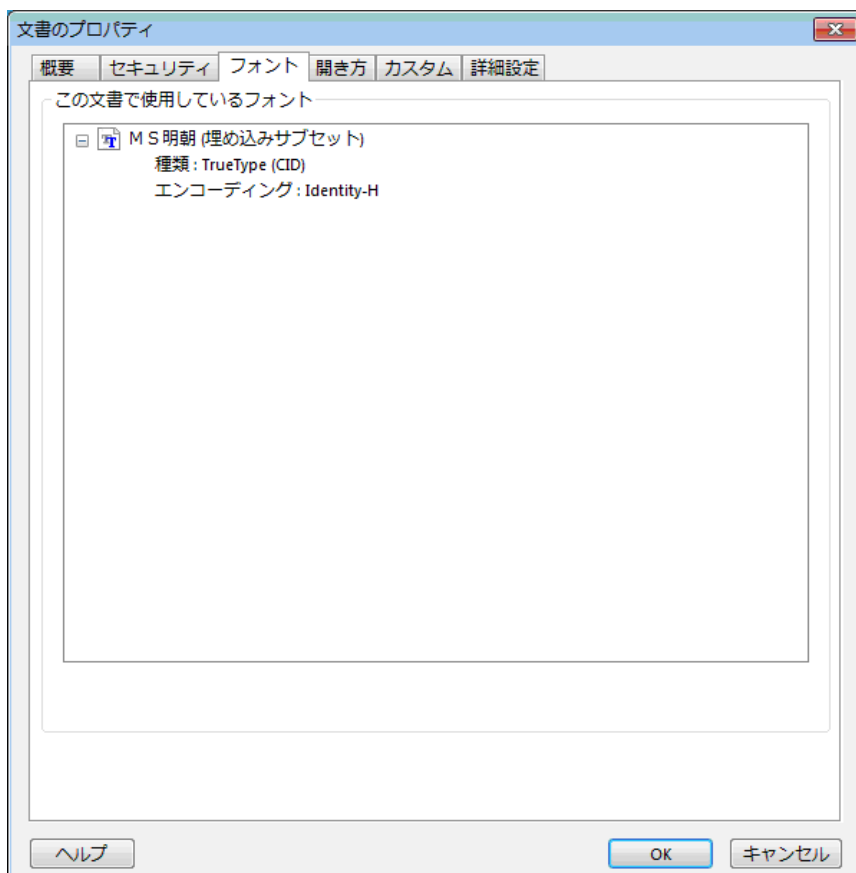
IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) は、将来的にV7.x互換バージョンと多言語バージョンの融合を目指しており、既存の帳票レイアウトでも動作いたします（一部制限あり）。

が、正しく多言語出力する際には、以下をご確認ください。

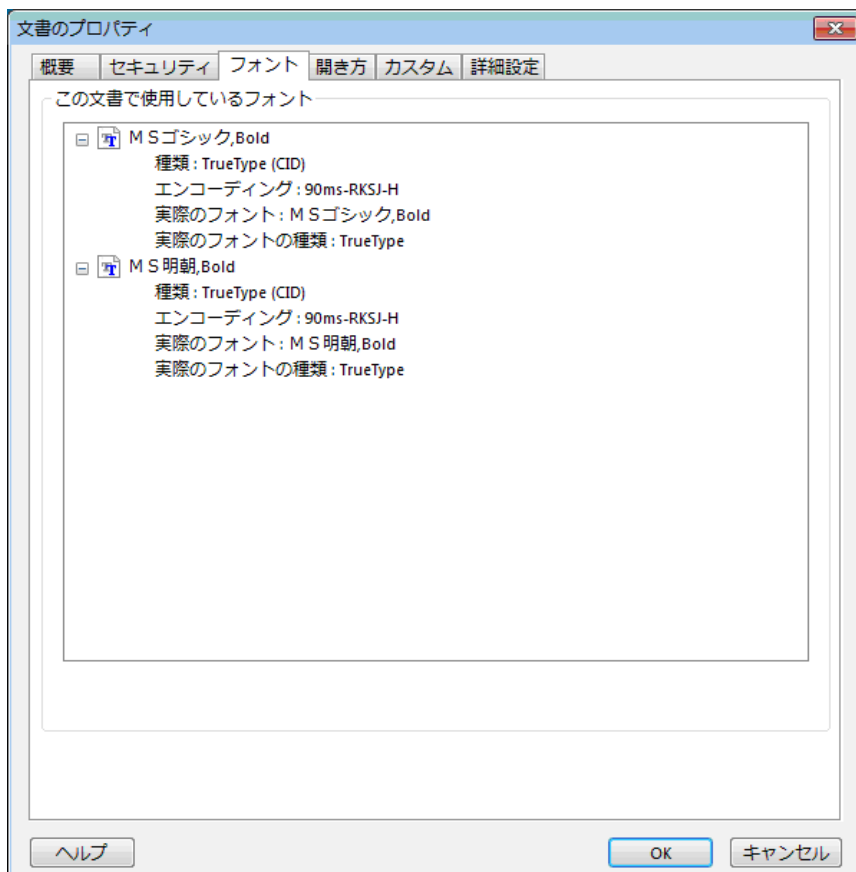
正しく多言語対応出来ているかどうかに関しては、以下の2点を確認してください。

1. PDFファイルにフォントが埋め込まれているかどうかを確認する。

生成されたPDFファイルをAdobeReaderで開いてください。ファイル→プロパティ→フォントタブを選択



正しく設定されている場合、フォント名の右に（埋め込みサブセット）と表示されています。



正しく設定されていない場合、フォント名の右に（埋め込みサブセット）の文字がありません。

2. 日本語以外の固有文字が正しく出力されているかを確認する。  
各言語固有の文字は、PDFデザイナーV7互換バージョンでは、フォントを埋め込んでも表示されません。正常に設定出来ているのかの確認に使用してください。

## 既存環境からのバージョンアップの場合（IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)へのバージョンアップ手順）

既存のシステムを、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)に移行する場合、以下の作業が必要となります。

作業の前提として、IM-PDFDesigner for Accel Platform（旧互換版）のインストールが完了し、正常に動作している必要があります。

（正常に動作していない環境では作業しないでください）

## IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)へのバージョンアップ手順

### (1). 帳票レイアウトファイルの変換

既存環境（移行元環境）の帳票レイアウトファイル（拡張子が dlf/def のファイル）を準備します。

### (2). 作業が必要なファイルは、以下の2種類のファイルとなります。

- ・ dlfファイル：帳票レイアウト（単票） - ※ dlfファイルが存在しない場合は、iodファイルを探してください。
- ・ defファイル：帳票レイアウト（連票）

**コラム**

dlfファイルが存在しない場合は、拡張子が iod のファイルを探してください。dlfファイルから帳票ツール固有の情報を削除したものがiodファイルとなります。dlfファイルとiodファイルは基本的に同じものです。

(3). dlfファイル（単票）の変換（[帳票レイアウトファイルの変換（既存環境からの移行の場合のみ）](#)）

- (3.1). 「スタートメニュー」 → 「YSS IOWebDOC」 → 「IODOC」 を起動します。
- (3.2). dlfファイル（もしくはiodファイル）を、IODOCツールにドラッグ&ドロップします。
- (3.3). 帳票レイアウトが開きます。
- (3.4). 上書き保存してください。

**コラム**

ファイル形式は、V6.x.x形式で保存してください。

- (3.5). dlfファイルと同じ名称の iodファイル が作成されていることを確認ください。
- (3.6). ファイルの最終更新日時が更新されていることを確認ください。

(4). defファイル（連票）の変換（[帳票レイアウトファイルの変換（既存環境からの移行の場合のみ）](#)）

- (4.1). 「スタートメニュー」 → 「YSS IOWebDOC」 → 「IOCELA」 を起動します。
- (4.2). defファイルを、IOCELAツールにドラッグ&ドロップします。
- (4.3). 帳票レイアウトが開きます。
- (4.4). 上書き保存してください。
- (4.5). defファイルの最終更新日時が更新されていることを確認ください。

(5). 移行先の環境に、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) を手順に沿ってインストールします。

(6). 帳票レイアウトファイル/ソースコード一式を新環境に配置します。

**注意**

帳票レイアウトファイルの置き場所に注意してください。iAPよりストレージサービスの概念がなくなっており、またテナント機能が新たに追加されています。

**コラム**

dlf/defファイル以外に cddファイルや画像ファイルを利用している場合は、これらのファイルも一緒に配置してください。基本は帳票レイアウトファイル一式が保存されたフォルダを丸ごと新環境にもっていきます。

(7). 動作確認

既存の帳票出力機能からPDFファイルを出力します。

新バージョンではデータチェック機能が厳しくなっており、旧バージョンで作成されたデータがエ

ラーとなる可能性があります

このため、必ずすべての帳票レイアウトについて出力を確認してください。



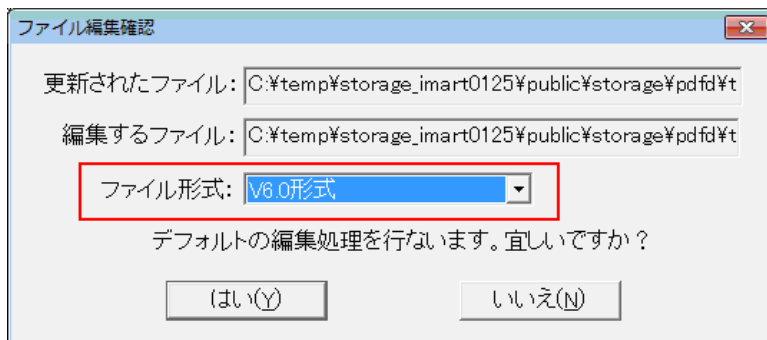
### コラム

正常に出力されない場合には、個別にお問合せください。

## 帳票レイアウトファイルの変換（既存環境からの移行の場合のみ）

帳票レイアウトファイルを、最新版のIOWebDOCで読み込んでください。

保存の際に、バージョン指定のダイアログが表示されます。6.x形式で保存してください。6.x形式で保存しない場合、多言語化されません。



また、保存の際には帳票レイアウトにプロポーショナルフォントが利用されていないか確認してください。

プロポーショナルフォントを使用している場合には、プロポーショナルフォント以外のフォントに修正を検討ください。

次に、当社推奨フォント以外が無いかを確認してください。

当社推奨フォント以外の場合は、多言語で問題無く出力されるか必ず確認ください。



### 注意

一つの識別子の中で利用できるのは、一つの言語のみです。複数の言語を一つの識別子の中で、利用することはできません。

同一帳票の中で中国語や韓国語を出力される場合は、中国語や韓国語の出力する部分に中国語や韓国語のフォントを指定してください。



### コラム

移行後に、帳票レイアウトの位置/フォントの位置等がずれる場合は、多言語版にて保存後に帳票レイアウトの位置を調整してください。

## 識別子のフォント設定

識別子の属性設定画面をひらき、フォントの全角文字、半角文字、半角カナにフォントを設定してください。

選択できない場合は、フォント名をコピー、ペーストしてフォント名を設定してください。



識別子に言語に対応したフォントが設定されていない場合、正常にPDFファイルが出力されません。



## その他

以下2点に該当する場合には、移行作業とは別にソースコード・帳票レイアウトファイルの修正が必要となります。

| 該当ケース                                      | 必要な作業   |
|--|---|
| 廃止メソッド<br>スを利用して<br>いる場合                   | ソースコードの修正が必要となります。下記の移行先クラス、および付属のサンプルソースをご覧ください。   |
| 2バージョン<br>以上前の帳票<br>レイアウトを<br>利用している<br>場合 | 新版のデザインツールで既存の帳票レイアウトファイルを開き、上書き保存してください。保存した帳票レイアウトをサーバに配置し、プログラムからPDFファイルを出力ください。出力結果に文字化けや文字のずれがないことを確認ください。文字化けや文字のずれ等は帳票ツール上で修正ください。 |



### コラム

上記に該当するかわからない場合は、個別に営業までご相談ください。

## 廃止メソッド

setCompressionメソッドは、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)では、利用できませんのでご注意ください。

## 廃止クラス

Storage Service の廃止により、一部のクラスが廃止となりました。

| クラス名                           | 廃止/新規                  | 移行先クラス        |
|--------------------------------|------------------------|---------------|
| AbstractBuilder                | 廃止(使用できません)            | なし            |
| AbstractPageBuilder            | 廃止(使用できません)            | なし            |
| CompressedPDF                  |                        |               |
| IOCelaPageBuilder              | 廃止(使用できません)            | CSVCela       |
| IOCelaPageWriter               | 廃止(使用できません)            | CSVCela       |
| IODocPageBuilder               | 廃止(使用できません)            | CSVDoc        |
| IODocPageWriter                | 廃止(使用できません)            | CSVDoc        |
| PageWriter                     | 廃止(使用できません)            | なし            |
| PDFBuilder                     | 廃止(使用できません)            | IOIntegration |
| PDFDocumentInformation         |                        |               |
| PDFException                   |                        |               |
| PDFIllegalLicenseException     |                        |               |
| PDFIllegalParameterException   |                        |               |
| PDFIllegalStateException       |                        |               |
| PDFIOException                 |                        |               |
| PDFLibSecurity                 |                        |               |
| PDFMemoryAccessException       |                        |               |
| PDFRuntimeException            |                        |               |
| PDFSecurity                    |                        |               |
| PDFUnsupportedVersionException | 新規(サポート対象外のクラスを使用した場合) |               |
| PDFWriter                      | 廃止(使用できません)            | IOIntegration |
| AbstractCSVCela                | 新規(インスタンスの生成はできません)    |               |
| AbstractCSVDoc                 | 新規(インスタンスの生成はできません)    |               |
| AbstractIODOC                  |                        |               |
| AbstractIOIntegration          | 新規(インスタンスの生成はできません)    |               |
| CSVCela                        |                        |               |
| CSVDoc                         |                        |               |

クラス名

廃止/新規

移行先クラス

IOIntegration

## 利用可能フォント（等幅フォント）

利用フォントは、等幅フォントをご利用ください。可変幅フォントはご利用いただけません。

（例）

MSゴシック/MS明朝 → OK 等幅フォント

MS Pゴシック/MS P明朝 → NG 可変幅フォント



### コラム

どうしても可変幅フォントを利用する必要がある場合、上記に該当するか不明な場合は、個別に営業までお問合せください。

## データファイルの文字コード

「入力ファイルのエンコーディング」の章を参照ください。

## ファイルの拡張子

| 拡張子 | 説明  |
|-----|---|
| dif | 帳票レイアウトファイル（単票用）  |
| def | 帳票レイアウトファイル（連票用）  |
| iod | IM-PDFDesignerの中間ファイル、IODOCツールにこのファイルを読み込ませると、帳票レイアウトファイル（単票用/difファイル）に変換します。 |
| cdd | 単票レイアウトとCSVファイルの紐づけファイル   |

## スクリプト開発モデルの場合

### データファイルの変更



### コラム

具体的には、以下に類似する関数を利用されているお客様になります。

IODOC#setCSV ( String path )

IODOC#setDAT ( String path )

IOCela#setCSV ( String path )

これまで、システムでCSVファイルやDATファイルを保存する際にはSJIS（MS932）が必須でした。

これからはUnicodeを指定して保存するように、上位プログラムを変更ください。

SJIS（MS932）のままですと、多言語対応されません。データ生成時の設定に注意してください。

データファイルの形式については、「入力ファイルのエンコーディング」の章を参照ください。

もし、DBがSJIS（MS932）であるようなお客様であれば、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)の使用自体を見直してください。

PDFデザイナー（V7互換バージョン）がお勧めです。

またCSVファイルのPDF出力でCDDエディタを使用している場合（CDDファイルを指定している場合）、CDDエディタでファイルを読み込んで上書き保存してください。そのファイルをサーバに上げてください。

## Unicode出力に設定変更（データをメモリ渡ししている場合）

### コラム

具体的には、以下に類似する関数を利用されているお客様になります。

IODOC#setData ( String id, String data )

IODOC#setTextBoxData ( String textboxdata )

IOCela#setData ( String id, String data )

IOCela#setRecord ( String datarecoed )

IOCela#setTextBoxData ( String textboxdata )

データをメモリ上に転換しているため、データ取得自体の変更は不要です。

もし、DBがSJIS（MS932）であるようなお客様であれば、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)の使用自体を見直してください。PDFデザイナー（V7互換バージョン）がお勧めです。

移行にあたっては、以下のソースの追加が必要です。

### **IODOC#setCharset ( String charset )**

引数の charset の部分に文字コードを指定ください。通常は、“UnicodeLittle ”（16 ビット Unicode Transformation Format、リトルエンディアンバイト順、バイト順マーク付き）を指定します。

例)

```
var pdf = new IODoc(iodPath, "");

pdf.setCharset ( "UnicodeLittle" );

// 後続処理を記載
```

**i** コラム

具体的には、以下に類似する関数を利用されているお客様になります。

```
CSVDoc#setCSV ( String path )
CSVDoc#setDAT ( String path )
CSVCela#setCSV ( String path )
```

これまで、システムでCSVファイルやDATファイルを保存する際にはSJIS（MS932）が必須でした。

これからはUnicodeを指定して保存するように、上位プログラムを変更ください。

SJIS（MS932）のままですと、多言語対応されません。データ生成時の設定に注意してください。

データファイルの形式については、「入力ファイルのエンコーディング」の章を参照ください。

もし、DBがSJIS（MS932）であるようなお客様であれば、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)の使用自体を見直してください。

PDFデザイナー（V7互換バージョン）がお勧めです。

またCSVファイルのPDF出力でCDDエディタを使用している場合（CDDファイルを指定している場合）、CDDエディタでファイルを読み込んで上書き保存してください。そのファイルをサーバに上げてください。

## Unicode出力に設定変更（データをメモリ渡ししている場合）

**i** コラム

具体的には、以下に類似する関数を利用されているお客様になります。

```
CSVDoc#setData ( String id, String data )
CSVDoc#setTextBoxData ( String textboxdata )
CSVCela#setData ( String id, String data )
CSVCela#setRecord ( String datarecoed )
CSVCela#setTextBoxData ( String textboxdata )
```

データをメモリ上に転換しているため、データ取得自体の変更は不要です。

もし、DBがSJIS（MS932）であるようなお客様であれば、IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版)の使用自体を見直してください。PDFデザイナー（V7互換バージョン）がお勧めです。

移行にあたっては、以下のソースの追加が必要です。

**CSVDoc#setCharset ( String charset )**

引数の charset の部分に文字コードを指定ください。通常は、"UnicodeLittle"（16ビット Unicode Transformation Format、リトルエンディアンバイト順、バイト順マーク付き）を指定します。

例)

```
CSVDoc pdf = new CSVDoc(iodPath, "");  
  
pdf.setCharset ( "UnicodeLittle" );  
  
// 後続処理を記載
```

## 帳票出力テスト

---

帳票の変更が少ないお客様でも、必ず全帳票に対して、複数のデータパターンで出力テストを行ってください。

特にこれまで多言語を出力していないお客様において、多言語出力を開始されたお客様に関しては、念を入れたテストをお勧めします。

## その他注意事項

---

### ライセンス発行手続きについて

---

IM-PDFDesigner for Accel Platform(多言語版) は、Ver.7.x以前のバージョンと異なり、帳票エンジン (IOWebDOC) のライセンス発行およびライセンスの入力が必要となります。詳しい手順については、~~IM-PDFDesigner for Accel Platform (旧互換版) のインストールマニュアルをご覧ください。~~

Copyright © 2014 NTT DATA INTRAMART CORPORATION